

やわぐいづみの議会報告

日本初の女性首相誕生でも、高市氏では手放しで喜べません。彼女は高市姓を名乗るために離婚や再婚しているにもかかわらず、選択的夫婦別姓には反対を表明している。体験者であれば、推進の立場に立つべきではないのでしょうか？
自民党立て直しのため、ワークライフバランスの言

葉を捨てられても困ります。国民のための政治が進められなければならない、最短在任期間になるのでは？
日本のジェンダー平等指数は改善してほしいですが、女性の首相が評価されても実態は伴わないと思います。



物価高騰対策

米・食糧支援を

市は物価高騰対策として、国の給付金を使い、給食食材・子育て・農業・事業所や低所得者支援策を行っていきます。しかし、物価高騰は止まらず、お米の値段は昨年の2倍！県内では、秩父市は全世帯に、日高市は18歳以下の子がいる世帯にお米券を配っており、当市でも実施を求めました。部長は「総合的に支援し、低所得者・市民税非課税世帯に給付金を交付してきた」と答弁。市長は「国や県の動きを見てい



く」と消極的な姿勢でした。

高齢者・困窮者に

エアコンで熱中症対策を

今年の夏はとにかく暑く、連日のように『酷暑』と言われました。この暑さの中、エアコンを使わなければ、命の危険、熱中症のリスクが高まります。
市は、省エネ効果の高いエアコンを設置する事業所に、環境面から補助金を出しています。私は家庭のエアコン設置への補助、高齢者や低所得者が安心してエアコンを使えるよう、市としての支援を求めました。
環境クリーン部長は、エアコンの適切使用は非常に重要としながらも、家庭へ

の支援は、他市事例など研究する、と消極的でした。生活保護や低所得世帯への支援は「エアコンの修繕・買い替え費用は保護費に含まれており、市が支援することはない」と答弁。生活保護費への夏季加算（電気代等への支援）は「全国知事会を通じて意見を上げている」と答弁。金沢市では、住民税非課税世帯にも月7千円の福祉光熱費助成金を支給しており、今後も求めいきます。

高齢者福祉バスを増やして

高齢者交流・研修支援事業（高齢者福祉バス）は、バスの台数が70台から30台に減らされました。利用団体から、元に戻してほしいとの声があります。部長は「毎年利用の団体があり、一定の効果が得られ、見直しを行っており、総合的に考えていく」と答弁。一台3万5千円の高齢者の外出機会への支援は、減らすべきではありません。



学童保育・指導員

処遇改善の充実を

この夏、市内3カ所で学

童保育保留児63名を預かる「サマープレイス」ところざわが開設されました。夏休みに通えて助かる方がいた一方、慣れない施設でなじめなかった子どももいます。学童の施設は、希望者に対し不足しており、今後の取組みを質問。部長は「来年度は4支援単位150人を受け入れる予定」と答弁。待機児ゼロを引き続き求めます。また、学童保育支援員のキャリアアップ処遇改善事業の実施を質問しました。部長の答弁は「導入に向けて検討を進めている」と、一歩前進です。

防災マップは多言語化を

災害時、外国籍の方にも分かりやすい情報提供の為、防災マップの多言語版作成を求めました。カタログポケット「アプリのQRコードを読み込めば、多言語に対応した情報が得られる」との事ですが、事前に必要情報提供を求めました。
*エステシティ⇄東所沢駅間のところざわゴンの増便と停留所増設も質問。「タクシー」との答弁でした。

小林すみ子の議会報告

この夏アニメ『火垂るの墓』がテレビで放映▽戦争で両親を亡くした兄妹、生きるために他人の畑からも盗み：兄は妹を弔い、自身も駆で餓死：。「政府の行為によって」起こされた戦争の犠牲者です▽戦後最悪な政権の誕生▽企業・団体献金禁止は何処へ▽連立合意書は、憲法9条改悪・医療費4兆円の削減等社会保障改



悪・大軍拡の前倒し・「スパイ防止法」制定・戦後最悪の政権です▽共産党は、緊急に民意を削る議員定数削減反対の一点で、広範な共同を呼びかけました。

平和祈念式

継続したい

今年には戦後・被爆80年の節目の年で、今年の8月6日、初めて市主催の平和祈念式を挙行。市長の平和への思いを次世代につなぐことや、平和祈念式の毎年実施することを質問。

市長は「80年前の戦争で、犠牲となった日本人310万人、アジアでは2千万人を超え、世界では5千万とも8千万人とも言われている。時の為政者は問題解決できると思い込み戦争へと進んだが、解決できず、計り知れない犠牲をとらなされた。決して

繰り返さないため、次世代を担う若い方々に、戦争の悲惨さ、平和の尊さをしっかりと継承していくことが重要」と答弁。

また、平和祈念式は150名の方が参列。「非常によかった。今後も続けてほしい」との言葉を頂戴した。平和を考えるきっかけにと捉えて、継続したいと答弁。 共

小1の壁

解消を

働きやシングル家庭では子どもが小学新1年生になると、登校時間より早く保護者が出勤する場合、子ども

の朝の居場所の問題があり、所沢市は、



平日の朝の子どもの居場所の取り組みはしていないことから、実施の可否や検討について質問。

部長は、他市の状況や施策を注視したいと答弁。

県内では、富士見市が、市内4カ所午前7～8時に「朝のこどもの居場所づくり」事業を11月4日から始め、志木市(定員30人)は6月から、行田市(同37人)は9月から始めました。

不登校の子どもに寄り添って

学校での不登校児童生徒が多くなっているのは所沢でも例外ではありませんが、少なくとも先生達が生徒に寄り添ってがんばっています。

不登校対策を休息と回復の保障を中心に据える事についての質問に、担当部長は特に心身が疲弊している時は、まずは休息も大切。安心できる場所で信頼でき

る人に相談すること、子どもも保護者も回復が図られると考えられると答弁。子ども達が通いたくなる学校改革について教育長の決意等を質問。

議会報告会のご案内

11月15日(土)

午後1:30～

所沢市役所低層棟3階
議会報告会を行います
9月議会の報告及び
市政に関する意見交換
を行います。

ぜひ、ご参加ください。
主催：所沢市議会

建設労働者の待遇改善を

日本の建設業界は、全産業の労働者と比較して、賃金は10%安く、労働時間は17%長く、完全週休二日制の導入は30%低い現状です。公共工事の設計労務単価は13年間引き上げられているが現場の実態とかけ離れています。乖離を縮める政策や、公共事業の現場で働く全ての労働者に対して、最低基本になる労働条件を

保証することなどを定める『公契約条例』の制定などを求めました。

部長は、設計労務単価は設計時に県から提供される最新の単価を反映させて、内容を契約締結時に受注者へ伝え、履行するよう働きかけていると答弁。

『公契約条例』については、建設現場で働く労働者の賃金その他労働条件に基づき労働条件の適正化が図られることは重要である。今後、国や県の動向を注視し、公契約に関して、新たな動きがあったら適切に対応していくと答弁。

